益城町こども計画

パブリックコメントの結果

（やさしい版）

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。

この資料は「益城町こども計画（案）に対するパブリックコメントの結果について」から抜粋・整理したものです。

Q.「益城町こども計画」とは？

未来を担うこども・若者が健やかに育ち、尊重され、活躍するまち
子育て世代が安心できるまち　“こどもまんなか益城町”

益城町こども計画は、「未来を担うこども・若者が健やかに育ち、尊重され、活躍するまち　子育て世代が安心できるまち　“こどもまんなか益城町”」を基本理念とし、様々な事情を抱える家庭や困難を抱える若者などを含む、すべてのこども・若者と子育てを行う保護者にとって暮らしやすく、生きる喜びを実感できるまちの実現を目指すための取組を書いたものです。

意見募集期間	令和7年1月27日(月)～令和7年2月16日(日)
意見提出方法	①オンライン専用フォームで提出 ②紙の意見書を提出(回収箱・郵送・FAX)
意見数	回答者数:全548件　　オンライン547件(こども・若者496件／一般51件)、紙1件(一般1件) 意見数:682件 ※「特になし」など無効な意見や個別での対応が必要な意見など30件を除いた件数

いただいた意見はすべて読んで、基本目標ごとにまとめました！

1. 地域全体でこどもまんなか社会を実現するまち
2. 安心してこどもを生み育てることができるまち
3. こども・若者が健やかに成長し、希望をもつことができるまち
4. 多様なこども・若者、子育て世代が置かれた環境に関わらず幸せに暮らすことができるまち
5. こども・若者が安全に暮らすことができるまち
6. その他

1. 地域全体でこどもまんなか社会を実現するまち

同じような内容の意見数を表しています。

1-1. 意見を聞くことについて

みなさんの意見

p40
こどもの意見をしっかり聞いたり、こどもの権利を大切にすることで暮らしやすいまちになると思う。（6）

p40
こども議会により何か変わったのか。正直、こどもの意見をしっかりと受け止めることができるのかが心配。

益城町の回答

４０頁に記載のとおり、こどもの権利を大切にし、こどもの社会参画・意見反映を推進し、「こどもまんなか益城町」を実現するよう努めてまいります。

こども議会は、小中学生のうちから町政や政治に関心を持っていただき、政治への参画を促すことを目的としており、これまでもこども目線での様々な提案や問題提起があっており、町の施策に活かされています。

1-2. 意見を聞く方法

みなさんの意見

p40
こども会議だけではなく、授業時間や匿名の意見箱、アンケートなどいろいろな方法でこどもの意見を聞いてほしい。（8）

益城町の回答

今後も、こども・若者の皆さんが意見を言いやすい・提出しやすい方法を検討し、様々な機会に、より多くのご意見をいただけるよう環境整備に努めてまいります。

2. 安心してこどもを生み育てることができるまち

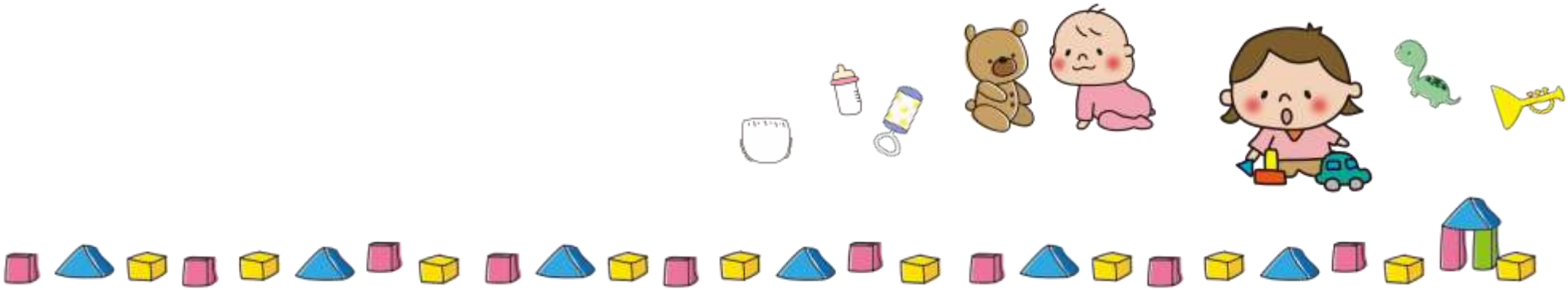
2-1. 妊婦の方への配慮

みなさんの意見

p42～43
妊婦の方が安心して過ごせるように休憩スペースなどをつくってほしい。(4)

益城町の回答

町では、現在、役場庁舎、保健福祉センター、交流情報センターなど、人が集まる公共施設には、授乳室やおむつ替えシートなど、乳幼児連れのお母様向けの設備を設置しております。より快適で安心できる環境づくりのため、今後、関係各課と連携し、検討を進めてまいります。



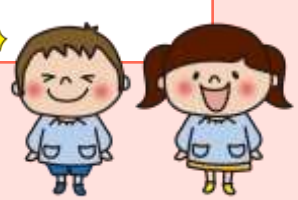
2-2. 教育・保育施設

みなさんの意見

p31、47
ただ「保育士になりたい」人ではなく「益城町で保育士になりたい」人を育ててほしい。(2)

p44
益城幼稚園を希望する人が、入園できるようにしてほしい。保育士確保も必要だが、幼稚園教諭を減らすという選択は避けてほしい。

p45
子育てに関する相談への取組や「待機児童ゼロ対策」は良い取組だと思う。



益城町の回答

今後、益城町内での就業支援やインターンシップの機会を増やすとともに、地元の保育施設や教育機関との連携を強化し、地域に根ざしたキャリアパスを明確にするための情報提供を行います。また、福利厚生の充実を図り、働きやすい環境を整備することで定着率の向上を目指します。

益城幼稚園の存続と質の高い教育の提供は、町としても重要な課題と認識しております。今後も、保育所のニーズと幼稚園のニーズのバランスを考慮しながら、適切な対応を検討してまいります。また、住民の方の選択肢が広がるような整備も引き続き検討をさせていただきます。

町では、特に「待機児童ゼロ対策」に力を入れております。若い世代の方々が妊娠や出産で困難を感じることなく、安心して子育てができる環境を整えるため、保育施設の増設や保育士の確保に努めています。また、子育てに関する相談窓口を設置し、育児に関する悩みや不安に対して迅速かつ適切な支援を提供しています。今後も皆様のご意見を参考にしながら、より良い子育て環境の整備に取り組んでまいります。

2-3. 経済的支援

みなさんの意見

p43、45
益城町のこどもや子育て世代に給付金や費用免除があるとよいと思う。(13)

p43，45
修学旅行費や制服代の免除、ワーク無償化など、学校に関係する費用の経済的支援があるとよい。(5)

p43、45
・保育園、小学校の給食費を無償化してほしい。(4)
・給食費を無償化しても予算により質が落ちては意味がない。無料でも有料でも栄養のあるおいしい給食を提供してほしい。

益城町の回答

計画書43頁に記載のとおり、児童手当として18歳までのこども一人あたり1～3万円（※年齢・人数による）を支給しています。また、物価高騰対応の住民税非課税世帯への給付金（こども加算あり）などの支給も行っています。

経済的に困窮し就学困難な児童生徒の就学を支援するために、学用品購入費、学校給食費や修学旅行費などの就学費を援助しています。支給対象につきましては、一定の基準があり、概要を町ホームページに掲載しております。
なお、制服代の免除やワーク無償化については、実施しておりませんが、今後、検討してまいります。

現在の大変厳しい町の財政状況を鑑みたとき、給食費無償化については、難しい状況です。町の財政状況や他の施策との整合性を見極め、国及び他自治体の動向も注視しながら、給食費無償化について検討してまいります。
学校給食につきましては、学校給食法第8条において、学校給食実施基準に照らし、適切な学校給食の実施に努めておりますので、仮に給食費を無償化した場合であっても、給食の質が下がることはありません。
保育所の給食につきましても、同様に現行の栄養基準に沿った給食の提供に努めます。

2-4．子育てに関するサービス

みなさんの意見

p45、77

託児所や一時預かり保育、休日でもこどもを預けられる(遊べる)施設など、今の子育て世代が暮らしやすく仕事がしやすいように安心してこどもを預けられるところを増やすとよいと思う。(5)

益城町の回答

計画書７４～７８頁に記載のとおり、「幼稚園や幼稚園以外での一時預かり事業」、「病児保育事業」など様々な事業を実施しており、８２頁に記載のとおり、「こども誰でも通園制度」も実施に向けて検討中です。

3. こども・若者が健やかに成長し、希望をもつことができるまち

3-1. 多様な体験・学び

みなさんの意見

p48、52
将来の夢がみつかるようにこどもの才能やこどもの好きを見つけられるイベントや体験のきっかけづくりをしてほしい。(4)

p48～49
部活動では学校の経験者の先生だけじゃなくコーチにきてもらうなどもっと強くなる機会がほしい。災害について学習する機会がほしい。(6)

p48～49
何かやりたい、やってみたいと思う子ども・若者は、本計画においては相談できる場所がないと思う。

益城町の回答

中学生を対象に、町内事業所や町役場での職場体験を実施しています。また、外部人材を活用した文化芸術・スポーツ分野などでの体験機会の創出、モルックなどのニュースポーツやｅスポーツなども取り入れながら、各種スポーツイベントも開催しています。
いただいたご意見を参考に、今後も内容の充実に努めてまいります。

部活動の受入先として、気軽に活動できる団体から専門的な指導を受けられる団体まで手配できるよう検討していきます。
また、国天然記念物「布田川断層帯」や赤井火山などの自然現象を活用し、防災・減災について学ぶ機会を提供しています。なお、学校においても、自然災害について学ぶ時間を設けています。

令和７年４月に開館した益城町地域共生センターは「いきがい」や「やりたいこと」が見つかる場所として、広く町民に利用していただきたいと考えております。また、様々なスポーツをやってみたいと思うこどものために、現在休止中の総合型スポーツクラブの早期再開に努めてまいります。

3-2. こどもの健康づくり

みなさんの意見

p48

こどもの健康は大事だと思う。朝又は昼、体操など軽く出来れば、頭も体もリラックス、リフレッシュ出来ると思う。(2)

益城町の回答

現在、「第３期益城町健康づくり推進計画」に基づき、こどもの頃からの運動習慣の獲得や、様々な世代が参加できるイベントなどを実施し、遊びを通じて身体を動かす楽しさや運動の意義を伝えられるような取り組みを展開していく予定としております。
ご提案いただいた、体操などによる健康増進の機会は、まさにこの健康づくり推進計画の趣旨に沿ったものであり、こどもたちの心身のリフレッシュ、健康増進の観点からも大変有効な手段だと考えています。具体的な実施内容について検討を進めてまいります。

3-3. 学校

みなさんの意見

p52、55、61
いじめ、不登校防止及び支援体制の確立について早急に体制を整えてほしい。(7)

p52
みんなが授業や勉強についていける環境を整えてほしい。(3)

p52
小・中学校を拡張したり、増設したりしてほしい。(3)

p52
グラウンド、熱中症対策（エアコン、屋根）など学校の整備を進めてほしい。(6)

益城町の回答

いじめ相談については、電話相談の他、スクールカウンセラーの配置などの相談環境を整えていきます。また、不登校支援については、支援センターであるフレンドネットの充実を図ってまいります。

町では、小中連携した授業改善を推進し、各学校ではＩＣＴを活用するなどして主体的な学びを促す取組を進めているところです。今後も、町内各学校で情報を共有し、改善を進めてまいります。

区画整理事業などによる宅地造成に伴い、生徒の増加による教室不足が見込まれる益城中学校ついては、令和７年度に普通教室棟の増築を予定しています。その他の小中学校についても、必要に応じて検討を行ってまいります。

いずれも児童生徒の安全性や学習環境の向上につながる重要な内容と認識しております。今後、他自治体の事例なども参考にしながら、検討してまいります。

3-4. 地域のなかでの学習（学校以外で）

みなさんの意見

p53～54
家以外にも静かに集中して勉強できる学習スペースをもっと増やしてほしい。(29)

p53～54
家族や地域のみんなが集まって教え合える場所やそういう機会を作るとよいと思う。(3)

益城町の回答

ミナテラスやコネットの他にも、計画書５６頁に記載のとおり、町内公共施設の一般利用可能スペースも活用できるよう整理し、学習をはじめ自由に過ごせる居場所づくりを進めていきます。また、そういった情報が、こども・若者に広く届くよう情報発信にも努めてまいります。また、令和７年４月に開館した益城町地域共生センターでは、誰でも自由に訪れて気軽に利用できるフリースペースを設置しています。

3-5. 図書館

みなさんの意見

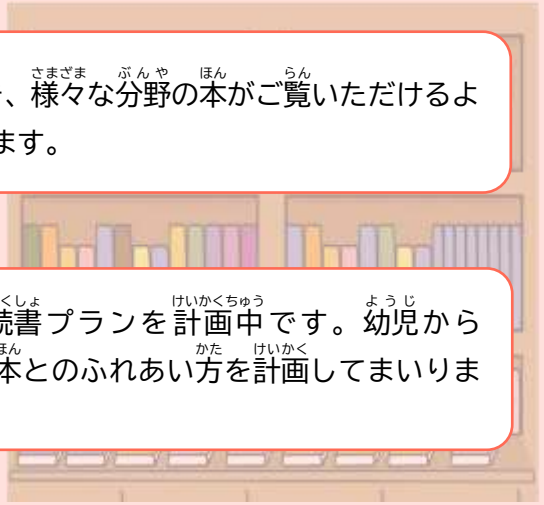
p53
図書館の本の数を増やして欲しい。また、こども向けの本だけでなく様々な種類の本を揃えて欲しい。(2)

p53
本を読むのは大切なことだとは思うが、関心を寄せるこどもが少ないため、まずこどもの関心を集めるようなことで注目を集めることが重要。本を読むことの大切さがわかるようにしてはどうか。

益城町の回答

予算の範囲内で、引き続き、様々な分野の本がご覧いただけるよう、選書を行ってまいります。

町では第３次の子ども読書プランを計画中です。幼児から中高生まで年齢に応じた本とのふれあい方を計画してまいります。



3-6. 居場所

みなさんの意見

ｐ55～56
公民館など室内のこどもの遊び場を増やしてほしい。（20）

ｐ55～56
古い公民館を新しくしたり、トイレがない公民館にトイレをつくってほしい。（2）

益城町の回答

計画書５５頁に記載のとおり、児童館は１８歳までの児童であれば誰でも利用できますので、ぜひご利用ください。
また、計画書５６頁に記載のとおり、町内公共施設の一般利用可能スペースも活用できるよう整理し、自由に過ごせる居場所づくりを進めてまいります。
令和７年４月に開館した益城町地域共生センターは、「垣根のない学びの提供」・「交流による新たな価値や活動の創造」・「憩いとにぎわいの場の提供」の３つを柱とし、公民館講座のみならず用事がなくともふらっと訪れ、新たな出会いや交流のできる施設として、ご利用いただきたいと考えています。

築年数の古い公民館津森分館については、建替えを予定しております。トイレのない公民館（自治公民館）については、改修に係る補助として、「益城町ふるさとづくり施設整備費補助金」の活用を紹介しています。

3-7. 放課後児童クラブ・学童、放課後こども教室

みなさんの意見

p55～56

放課後児童クラブについて必要なこどもたちや家庭全員が安心して利用できるよう、受け入れ環境の整備を進めてほしい。障がいを持つこどもを安全に預かるための環境や支援員の確保などが必要。(12)

益城町の回答

児童の受入環境の整備につきましては、分譲地の整備状況や人口推計などの状況も確認しながら、必要に応じて運営場所の確保を行い、放課後児童クラブの増設、民間事業者などとの連携も含めた児童の受け皿の確保を検討してまいります。
支援員の配置につきましては、国の基準で定められた人員を全ての放課後児童クラブで常時満たしており、また、障がいなどを持つなど配慮が必要な児童に対応するための人員についても、別途専門知識を有する支援員を配置しております。

3-8. 進学や就職

みなさんの意見	益城町の回答
p57 将来につながる仕事や進路を見つけるため職場体験の実施回数や受け入れ場所を増やしてほしい。	職場体験については、町内企業などにご協力いただき、実施できているところです。今後も、生徒の多様なニーズに応えることができるよう検討してまいります。
p57 私立高校の学費免除や大学費用の無償化など、進学に関する金銭面での援助をしてほしい。(8)	私立高校の授業料の減免および大学費用の無償化に関する援助はありません。また、今後の検討も難しい状況です。
p57 勉強の面で高校や大学などの受験に本気で受かりたい人のための支援を出来ればしてほしい。	令和７年度に、ミナテラス内に中高生向けの学習ルームを整備する予定です。また、令和７年４月に開館した益城町地域共生センターにも、誰でも自由に利用できるフリースペースを設置しています。この他、計画書５６頁に記載のとおり、町内公共施設の一般利用可能スペースも活用できるよう整理し、学習をはじめ自由に過ごせる居場所づくりを進めていきます。 こういった情報が、こども・若者に広く届くよう情報発信にも努めてまいります。
p57 高校誘致や企業誘致をしなければ、将来の夢が見つかっても益城町から流出してしまうと思う。(3)	町では熊本地震からの創造的復興の一環として、企業誘致に注力しています。令和２年からの５年間で、益城町は２３社と立地協定を締結しました。この流れを促進するために、グランメッセ熊本の北側で産業団地の整備も進めています。 高校誘致については、いただいたご意見も参考に、引き続き検討してまいります。

3-9. 結婚・出産への支援、仕事と家庭の両立支援

みなさんの意見

p58～59
大人になっても安心して子育てできるように、支援してくれる町であってほしい。(2)

益城町の回答

計画書に記載のとおり、乳幼児期から児童期・思春期・青年期、妊娠期から出産・子育て期など、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行い、こども・若者・子育て世代が安心して過ごすことができる町であるよう努めてまいります。

4. 多様なこども・若者、子育て世代が置かれた環境に関わらず幸せに暮らすことができるまち

4-1. 相談や悩みごと

みなさんの意見

p60～65
色々な事情があるこどもたち同士で話す場や手紙での形式など、悩みがあるこどもが相談しやすい場があると良いと思う。(4)

益城町の回答

各学校には、教職員の他、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、養護教諭を窓口に相談体制を整えています。
今後も、様々な状況にあるこどもが相談しやすいよう、既存の相談窓口の拡充や新たな相談機会の創出など、関係機関と連携しながら検討してまいります。

4-2. こどもの貧困対策

みなさんの意見

p60
こども食堂でのサポートに高校生や大学生などのボランティアを募集できたら、学生にとっても良い経験になり、こども食堂にとっても助けになるのではと思った。

益城町の回答

現在も、こども食堂における学習支援で、大学生ボランティアに参加いただいているところです。
今後も、こども・若者を含めた地域の方々のご協力をいただきながら、どういった取り組みができるか検討してまいります。

4-3. ひとり親家庭への支援

みなさんの意見

p 62

ひとり親家庭の人は中学、高校の制服代を無償化、給食費の無償化を検討してほしい。(2)

益城町の回答

計画書６２頁に記載のとおり、ひとり親家庭には、児童扶養手当やひとり親家庭等医療費助成などの支援を行っています。
また、制服代の無償化は行っていませんが、経済的に困窮し就学困難な児童生徒の就学を支援するために、学用品購入費、学校給食費や修学旅行費などの就学費を援助しています。

4-4. 障がい児福祉

みなさんの意見

p 63～64

支援クラスに入るほどではないけれど、勉強に集中するまでに、理解するまでに手助けが必要なこどもがクラスに１/４ほどいると思う。担任の先生の他に学習支援の先生の配置をお願いしたい。教員免許があることが望ましいが、地域のボランティアさんに協力してもらってはどうか。

益城町の回答

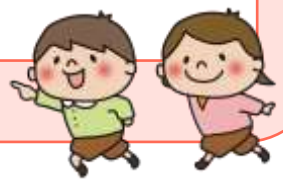
現在も学級支援員を配置し学級担任と連携を図りながら学級運営に取り組んでいます。今後の増員などについては、必要に応じ検討してまいります。また、地域のボランティアの協力についても検討してまいります。

5. こども・若者が安全に暮らすことができるまち

最も意見が多かった
（関心度が高い）
取組です！

5-1. 公園整備・遊び場の整備

みなさんの意見	益城町の回答
p66 公園を増やしてほしい。（70）	町内には１００か所を超える公園を設置しています。既存公園の機能を充実させながらこどもたちが楽しめる公園の計画的な整備に努めてまいります。
p66 公園の遊具を整備してほしい。（83）	公園遊具の劣化点検を定期的に実施し、適宜整備に努めてまいります。遊具の更新、新設については利用者のニーズを踏まえながら整備してまいります。
p66 公園の安全性を保ってほしい。（13）	地域の方々や益城町シルバー人材センターによる日常的な点検に努め、安全性を確保してまいります。
p66 公園でスポーツやボール遊びができるようにしてほしい。（30） 現在ある公園は使い方のルールが細かくあり、こどもたちがのびのび遊べない。大人の都合でなく、こどもの成長につながるようなルール作りをお願いしたい。（3）	公園利用のルールは、公園ごとにそれぞれの地域で決定されています。ボール遊びをして良いかどうかも含め、利用者のマナー向上や安全の確保など、それぞれの地域で公園利用のルールをご検討ください。 なお、町では、現在、スポーツができるグラウンドの整備について、適地の調査を行っているところです。



5-1. 公園整備・遊び場の整備

みなさんの意見

p66
公園をきれいに保ってほしい。(71)

p66
ベンチを整備してほしい。(11)

p66
トイレや水道を設置してほしい。(6)

p66
金木犀や花などを植えてほしい。(3)

p66
公園について自販機を置いてほしい。(2)

益城町の回答

地域の方々や益城町シルバー人材センターにおいて日常的な点検につとめ、清潔な公園維持に努めてまいります。
地域住民による主体的な清掃活動は歓迎いたします。

快適に過ごせる公園の計画的な整備に努めてまいります。公園施設などの更新、新設については利用者のニーズを踏まえながら整備してまいります。

5-2. 通学路・交通環境

みなさんの意見	益城町の回答
p66～67 ・安全な通学路や歩道を整備してほしい。(35) ・木や雑草が生い茂って危ない道路があり、草刈りのの頻度を上げてほしい。(7)	通学路の安全対策については、学校から危険箇所の情報提供を受け、現在も年２回の「通学路安全推進会議」を開催しております。今後も、通学路の安全確保のため、関係機関と連携しながら検討を重ねてまいります。
p66～67 部活動で遅くなるため、暗い通学路に街灯を増やしてほしい。(10)	益城町では地区と地区をつなぐ主要な道路に防犯灯を設置している他、各地区で防犯灯を設置する際に地区に対して助成を行っています。通学路が暗く、危険な場合は町危機管理課や各地区の区長にご相談ください。
p66～67 通学路で大人の人に見守り活動をしてほしい。防犯強化を行ってほしい。(5)	現在、保護者による旗振り、地域のボランティアによる見守りをしていただいています。また、毎月１、１０、２０日の交通安全日には、交通指導員隊による通学路の見守り、パトロールも行われています。
p66～67 小学校低学年の児童が夏期の日中最高気温になる時間帯に顔を真っ赤にしながら下校している様子を見かける。園児を子育てしている世帯又はこれから子育てをしていく世帯の子どもが小学校に入学する頃には、今よりも夏期の熱中症リスクが高くなるため、家から学校までの距離（２ｋｍ以上など）夏期期間中（６月～１０月）だけでもスクールバスの運行があれば親としては安心。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見を参考に、児童生徒の登下校のあり方について検討を重ねてまいります。

5-3. 防災

みなさんの意見

p66

益城町だからこそ、こども計画の中に、災害時の視点が入ってもよいと思う。災害時の妊産婦支援、避難所でのこどもの居場所、被災後の保育・教育の在り方の問題、親子のメンタルケア、支援者のケアなど。可能であれば検討いただきたい。

p66

全ての家に防災グッズを配ると良いと思う。
防災のイベントをすると良いと思う。(2)

益城町の回答

大規模災害を経験した益城町として、計画書の［施策の展開（主な取り組み）］に以下内容を追加し、取り組んでまいります。

「大規模災害時の避難所において、粉ミルクや哺乳瓶、おむつなどの生活必需品を提供できるように備蓄品を準備し、避難時の生活に支障がないよう体制を整備します。また、大規模災害時に医師や看護師などの派遣により医療支援を受けることができるよう、認定ＮＰＯ法人と協定を結んでいます。
災害対応が長期化する場合には、避難所におけるこどもの居場所確保についても早期に検討します。」

町では各学校や避難地などに防災倉庫を設置し、災害時に必要な食料、器具を備蓄しています。また、総合防災訓練など防災に関するイベントを行う際にはアルファ化米や非常持ち出し袋の配布を行うこともありますのでぜひご参加ください。

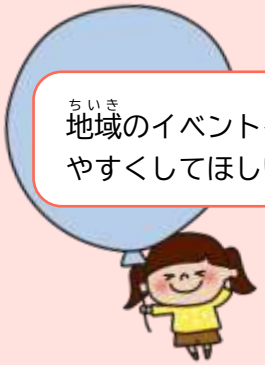
6. その他

6-1. まちづくりや商業施設の誘致

みなさんの意見

・コンビニやショッピングモール、飲食店など商業施設をふやしてほしい。
・買い物がしやすいように買い物のカートに子供が乗る用の椅子をつけたりするともっといいと思う。(25)

建物ばかり建っていて、木とか伐採されていてあまり良くないと思う。自然環境に配慮したまちにしてほしい。(2)



地域のイベントをもっと増やしたり、もっと参加しやすくしてほしい。(5)

益城町の回答

町では、熊本地震からの復興のシンボルの１つとして、県内初の２階建てコンテナ複合施設「BOX SQUARE マシキラリ」の整備・運営を支援しています。なお、益城町総合計画では、「買い物利便性の向上」を重要施策として掲げており、新たな商業施設の進出を促す環境を整えるとともに、既存の商業施設との連携を促す取り組みを進めていこうとしています。これにより、コンビニやショッピングモール、飲食店などの商業施設が増え、町全体の活性化にも繋がると考えております。

区画整理事業や地区計画においては公園を造るなど一定の緑地確保を行って進めているところです。

町としては、住民全員がまちづくりの主体となり、町や町議会、民間、大学などそこに関係するすべての方がまちづくりの主体となることが重要だと考えており、地域の方々や民間事業者などが、地域のイベントを開催される際に必要なサポートや広報などの支援を行っています。
これらの取り組みを通じて、地域の方々が主体的に企画・実施するイベントの増加を促し、誰もがより参加しやすい環境を整備してまいります。

6-2. 公共交通機関の整備

みなさんの意見

公共交通機関（バス）を増やしてほしい。特にミナテラスや病院に行きやすいようにしてほしい。

益城町の回答

木山、広安地区では予約型乗合バスを、福田、津森地区では予約型乗合タクシーを運行しています。さらに、飯野地区でも令和７年度から予約型乗合タクシーの実証運行を始める予定です。これらの取り組みにより、町内全域にわたって、公共交通を利用しやすい環境を整えてまいります。

ミナテラス周辺のバス停としましては、予約型乗合バスと予約型乗合タクシーは総合体育館に設置しています。

また、予約型乗合バスは、木山、広安地区内の医療機関へ行きやすい場所に乗降場所を設けております。

今後も、皆さまの生活の利便性向上のために、公共交通の充実を図ってまいります。

6-3. こども計画全体について

みなさんの意見	益城町の回答
計画書全体 計画の内容に賛成。（22） ・こどもだけでなく、若者や家庭にも目を向けているとこが良いとと思った。	計画にご賛同いただきありがとうございます。今後も皆さまのご意見を聞きながら、着実に計画を推進するよう努めてまいります。
計画書全体 基本目標２の金銭的支援は、他の市町村と比べてもとても手厚いものでは無いかと思う。私は市外に住んでいるが、益城では最近色々なイベントが開催されたりしているので楽しい町という印象も強い。これからももっと様々なイベントをすることで町外へのアピール、移住者促進にも繋がると思う。	ご意見いただきありがとうございます。 本町における子育て環境や取り組み、種々のイベントなどについて、内外に広く周知広報するよう努めてまいります。
計画書全体 こどもを安心して生み育てる環境である事は、当たり前のことであり、また、こどもが、健全に育つ為に、様々な施策は必要と思う。成長段階において、切れ目の無い行政や、各機関の連携、支援を充実させていただきたい。	計画書８５頁に記載のとおり、家庭はもとより、地域や関係者、行政が連携し、協働による取り組みを推進する必要があると認識しております。 すべてのこども・若者・子育て世代に対し、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行い、計画の基本理念でもある「未来を担うこども・若者が健やかにに育ち、尊重され、活躍するまち　子育て世代が安心できるまち　“こどもまんなか益城町”」を実現すべく努めてまいります。